

令和7年度福島県多文化共生に係るアンケート調査報告書（概要）

県内における外国人住民を取り巻く状況や課題等を把握し、多文化共生施策の推進につなげることを目的に、下記のとおりアンケート調査を実施し、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

記

1 調査の概要

調査期間：令和7年10月1日～10月31日

区分	外国人住民対象	日本人住民対象
調査対象	20歳以上の外国人住民 3,500人	20歳以上の日本人住民 2,500人
方法	無作為抽出した調査対象に郵送で通知し、オンラインにより回答を頂く。	
回答数	860件（回答率24.6%）	421件（回答率16.8%）
調査項目	属性、日本語、仕事、生活の情報源、地域における交流、日常生活の困りごと、自治体への要望など（42項目）	属性、外国人との関わり、差別や偏見、外国人との共生社会など（23項目）

2 調査結果のポイント

(1) 外国人調査

I 属性

○回答者の国籍・地域（P6）

・「ベトナム」が最も多く、全体の33.5%（288人）を占めている。次いで「フィリピン」14.5%（125人）、「インドネシア」10.1%（87人）、「中国」9.5%（82人）の順となっている。

○回答者の在留資格（P7～9）

・技能実習が36.9%（317人）と最も多く、次いで、「特定技能」15.7%（135人）、「永住者」17.1%（147人）となっている。

○福島県での居住年数（P10～11）

・「1～3年未満」が、392人と全体の45.6%を占めている。また、「1年未満」、「3年～10年未満」を合わせた居住年数≪10年未満≫では、全体の80.3%となっている。

○「やさしい日本語」を知っていますか（P13）

・やさしい日本語の認知度は、73.8%（635人）となっている。

II 日本語

○日本語の能力について（P14）

・日本語能力は、「話す・聞く・読む・書く」の全ての能力において「少しできる」と回答した割合が最も多い。能力別に見ると「できる」、「少しできる」を合わせた≪できる≫は「話す」は80.6%、「聞く」は83.6%となっている。一方で、「読む」は≪できる≫が69.3%、「書く」は64.0%となっており、読解・記述面が低くなっている。

○日本語の勉強について（P15）

・「自分ひとりで勉強してる」が85.7%（521人）と最も多くなっている。

### Ⅲ 仕事

#### ○仕事の形態 (P21)

- ・92.2% (793人) が仕事をしており、「技能実習生・研修生」が36.2% (287人) と最も多く、次いで「正社員」20.3% (161人)、「特定技能」15.8% (125人) となっており、「経営者」や「自営業」はいずれも少数となっている。

### Ⅴ 生活

#### ○災害で困ったこと (P33~35)

- ・「特に困ったことはない」が最も多くなっている。ただし、福島県での居住期間を見ると、「1~3年未満」が全体の45.6%を占め、「10年未満」は80.3%に達していることから、多くの回答者の県内居住歴が比較的浅く、災害を実際に経験していないことが多い要因の一つと考えられる。

具体的な困りごととしては、「避難場所がわからなかった」が15.8% (136人) と最も多くなっている。次いで、「信頼できる情報をどこから得ればよいかわからなかった」14.5% (125人)、「警報・注意報などの避難に関する情報が、多言語で発信されていないためわからなかった」11.2% (96人) となっている。

#### ○日常生活に関する情報をどこから得ているか (P37~40)

- ・「SNS」が43.1% (371人) と最も多くなっている。次いで、「家族や親せき」39.7% (341人)、「日本人の友人」34.0% (292人) など、身近な人からが多くなっている。

### Ⅵ その他

#### ○地域における交流 (P43)

- ・最も多かった交流の場面は「仕事や職場」が56.0% (482人) と最も多くなっている。次いで、「祭りなどの伝統行事」が32.4% (279人)、「清掃活動」24.7% (212人) となっている。

#### ○どのような交流であれば参加したいか (P44~45)

- ・「祭りなどの伝統行事」が47.7% (410人) と最も多くなっている。次いで、「日本語教室」32.1% (276人)、「仕事や職場」30.5% (262人)、「清掃活動」28.3% (243人)、「運動会」27.7% (238人) となっている。

#### ○福島県国際交流協会の「外国人のための相談窓口」を利用した事があるか (P47)

- ・「知らない」が66.9% (575人) となっている。

#### ○福島県は外国人にとって暮らしやすいと感じるか (P48~49)

- ・「暮らしやすい」が69.2% (595人) となっている。

#### ○日常生活で困っていること、不安なこと (P50~51)

- ・「言葉が通じない」が36.3% (312人) で最も多くなっている。次いで、「物価が高い」28.6% (246人)、「日本の生活習慣・ルールの違い」24.1% (207人)、「友人が少ない」21.9% (188人)、「生活費やお金の問題」17.9% (154人) となっている。

#### ○県や市町村にしてほしいこと (P54)

- ・「外国人が日本語や日本の習慣を学ぶ機会を増やす」が52.3% (450人) と最も多くなっており、日本語学習や生活習慣への支援が多く求められている。次いで、「外国人の就職を支援する」41.6% (358人)、「日本人と外国人が交流する機会を増やす」30.1% (259人)、「外国語で医療を利用できるようにする」27.4% (236人)、「外国語の相談窓口を増やす」26.3% (226人) となっており、就労、交流、医療といった生活基盤分野への支援が求められている。

## (2) 日本人調査

### I 属性

#### ○「やさしい日本語」を知っていますか (P6)

- ・「やさしい日本語」の認知度は64.4% (271人) となっている。

### II 外国人との関わり

#### ○普段の生活で外国人と交流する頻度はどのくらいあるか (P8~9)

- ・交流が「全くない」が45.1% (190人) と最も多く、「あまりない」も含めると72.2% (304人) が「ない」となっている。

#### ○普段の生活で外国人との付き合いがない理由は何か (P11)

- ・「付き合う場やきっかけがないから」が66.5% (115人) と最も多くなっている。

#### ○外国人と交流する場合、どのような内容なら交流してみたいか (P12~13)

- ・「祭り」が37.8% (159人) と最も多く、日本文化を通じた交流への関心が高くなっている。次いで、「趣味を同じくする人たちのサークル活動」36.1% (152人)、「仕事や職場」33.3% (140人) となっており、趣味、就労など日常生活に身近な場面での交流希望が多くなっている。

#### ○お住いの地域に外国人が増えることについて (P13)

- ・「どちらともいえない」が34.7% (146人) と最も多くなっている。「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた「好ましい」が24.3% (102人) となっており、「どちらかといえば好ましくない」、「好ましくない」を合わせた「好ましくない」が40.7% (171人) となっている。

#### ○福島県は外国人にとって暮らしやすいか (P15)

- ・「わからない」が62.0% (261人) となっている。

#### ○地域に外国人が増えることへの影響についてどう思いますか (P18~19)

- ・「そう思う」、「少しそう思う」を合わせた「そう思う」は「外国のことについて関心を持つようになる」が66.0% (278人)、「外国の言葉や文化等を知る機会が増える」が63.1% (266人) となっている。
- 一方、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が82.5% (347人)、「言葉の壁によるトラブルが生じる」が78.1% (329人) となっている。

#### ○身の回りに働いている外国人が増加してきていると感じるか (P20)

- ・「大いに感じる」、「ある程度感じる」を合わせた「感じる」が75.5% (318人) となっている。

### III 偏見・差別

#### ○日本人から外国人に対する偏見や差別はあると思うか (P21)

- ・「かなりある」、「多少はある」を合わせた「ある」は、69.3% (292人) となっている。

### IV 外国人との共生社会

#### ○多文化共生社会実現のため、外国人には何をして欲しいか (P24)

- ・「日本の習慣、生活ルールを守るようにする」が83.1% (350人) と最も多くなっている。
- 次いで、「日本語や日本の文化を学ぶ」67.0% (282人)、「地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする」37.3% (157人)、「外国の言葉や文化を教える」28.3% (119人)、「生活の中で感じたことを提案、発信する」25.4% (107人) となっている。

#### ○福島県の外国人を受け入れる環境整備の現状について (P27)

- ・「分からない」が47.5% (200人) と最も多くなっている。「進んでいる」、「ある程度進んでいる」を合わせた「進んでいる」は、21.7% (91人) となっている一方、「あまり進んでいない」、「進んでいない」を合わせた「進んでいない」は、29.4% (124人) となっている。